

## 競技注意事項

1. 規則 競技は2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。  
ただし、2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の事項は適用はしない。

2. 練習 ①練習は競技場周辺及び競技場内のあいているところで安全に注意して行う。  
②フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内において行う。  
③競技場内での練習は、競技開始15分前まで使用してよい。

3. 競技場・ピンの長さ及びシューズについて  
①この競技場は、全天候型の競技場である。  
②スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守すること。ただし、走高跳・やり投の場合は12mm以下とする。（小学生出場者はスパイクの使用は不可）  
③シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の規定は下記8のとおりとする。

4. 招集 ①招集所は、100mスタート付近倉庫内に設ける。  
②招集を受けない競技者・完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、競技への出場を認めない。  
③競技者は招集開始時刻から完了時刻までに招集所でアスリートビブスの確認を受け、トラック種目出場者は腰ビブスを受け取る。  
④招集開始及び完了の時間は下記の通りとする。  
招集開始・完了時刻

	招集開始	招集終了	現地確認
トラック種目	35分前	20分前	10分前
フィールド種目	60分前	40分前	30分前
小学校種目	30分前	15分前	

5. 退場 ①トラック競技、フィールド競技とも、終了後は各競技の妨げとならないよう十分注意して自校の待機場所に戻る。こと。（スタンド両脇の階段を利用する）なお、トラック競技出場者は腰ビブスをフィニッシュ地点で返却してから戻ること。  
②退場の際には、トラックを横切ったり、決勝審判台の前を通過しないこと。必ずスタンドの階段を使って移動すること。

6. 決勝進出について  
トラック種目は小学校種目を除き、100mのみ予選を実施する。その他の種目は決勝タイムレースで行う。一般・高校女子を除き予選の記録上位16名が決勝へ進出する。その際予選記録9位～16位がB決勝、予選記録1位～8位までがA決勝とする。フィールド種目（走幅跳・砲丸投・円盤投・やり投）の決勝は予選記録上位8名で行う。なおその試技順は予選記録下位の者からとする。

7. アスリートビブス  
①アスリートビブスは小学生は市内大会割り当て番号、中・高校生は今年度専門部登録のものを使用する。一般は主催者が番号を割り振りスタートリストに提示する。（千葉県選手権出場者はその時配付されたものを代用する）  
②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように伸ばして四隅をしっかりとつける。ただし、跳躍競技は胸または背の一方をはずして競技してもよい。  
③トラック競技については、腰ビブスを右腰やや後部につける。  
（ただし、リレー競技は第4走者のみとする）小学生についても同様とする。

8. シューズ規定  
本競技会は日本陸連公認大会ではないが、競技用シューズ・スパイクについては、WA規定に定めるところによるものとする。この規定に違反した競技者の記録はオープン等の扱いとなる。特に長距離レースにおいて使用するシューズに疑義を生じた場合、審判長が競技後シューズを確認することもある。ただし、小学生の競技においてはこの限りではない。また、中学校の投てき種目についても今回は特例としてこの限りではない。

9. 番組編成  
男女とも長距離種目は、記録上位選手を集めた組を主催者で編成し実施する。その他についても主催者で公平に番組編成を行い、スタートリストを公表する。

# 10. 走高跳の最初の高さとのバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
中学男子走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以後 審判長判断 による
中学女子走高跳	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	
高校男子走高跳	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	
高校女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	

\*第1位に関わる競技者が同記録の場合は、第1位決定のためのバーの上げまたは下げる範囲は2cmとする。

# 11. ハードルの高さ及びインターバル

	距離	第1ハードルまで	インターバル	高さ
中学男子	110m	13.72m	9.14m	0.914m
中学女子	100m	13.00m	8.00m	0.762m
高校男子	110m	13.72m	9.14m	1.067m
高校女子	100m	13.00m	8.50m	0.840m

# 12. 投てき物の重さについて

本大会での投てき物の重量は以下の通りとする。

	中学男子	中学女子	高校男子	一般・高校女子	一般男子
砲丸	5kg	2.72kg	6kg	4kg	7.26kg
円盤			1.75kg	1kg	2kg
やり			800g	600g	

# 13. スタートについて

- ①不正スタートした競技者はすべて失格となる。ただし、2025年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則TR16.5の事項は適用はしない。不適切行為については注意にとどめる。
- ②中学男女の800m、一般高校女子の800mについては、セパレートレーンを利用したスタートとする。
- ③中学男子、一般高校女子の3000m、一般高校男子の5000mにおいてはグループスタートを採用する。その際、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。

# 14. リレー競技

- ①リレーに出場するチームは、上半身のウェアのデザイン、配色が同一であれば問題なしとする。また、選手によってユニフォームのタイプを選択することや、下半身のウェアの形状・デザイン・配色が統一しなくても問題はない。
- ②リレー出場チームは、最初の組の招集開始5分前までにオーダー用紙（1部）を必ず提出すること。なお、棄権するチームは招集所に申し出ること。また、オーダー用紙は招集所に用意してあります。

# 15. 計時

本大会のトラック競技は全競技、全種目とも写真判定装置を使用し、記録を計時する。（記録はすべて1/100秒単位となる）

# 16. 用器具

器具は競技場備え付けのものを使用する。

# 17. その他

- ①選手は服装を正し、見苦しくない服装で競技を行うこと。
- ②応援席、トイレ等競技場内の使用は清潔・整頓につとめること。
- ③ゴミはすべて自分たちで持ち帰り、競技場内には一切置き去りにしないこと。
- ④貴重品の管理は各校で確実にすること。
- ⑤応援等のため、トラック・フィールド内に立ち入ったり、スタート後方、ゴール前方に出ないこと。
- ⑥スタート合図がかかったら静かにし、選手のスタートの妨げにならないように注意すること。
- ⑦選手及び応援生徒の野球場ならびに体育館への出入りを禁止する。
- ⑧競技中等のケガは大会本部で応急処置を受けて下さい。ただし、以後の責任は自己において行い、主催者は責任を負わないものとする。
- ⑨各種目3位以内に入賞した選手には、賞状・メダルを授与する。結果アナウンスがありしだい、正面スタンド下に集合する。
- ⑩蜜を避けるために記録は掲示しません。上位入賞者のみアナウンスで紹介しします。また、記録速報サイトを設けるので、そちらより確認してください。大会終了後野田市陸上競技協会ホームページに掲載するので、そちらも参照してください。